

現状と課題

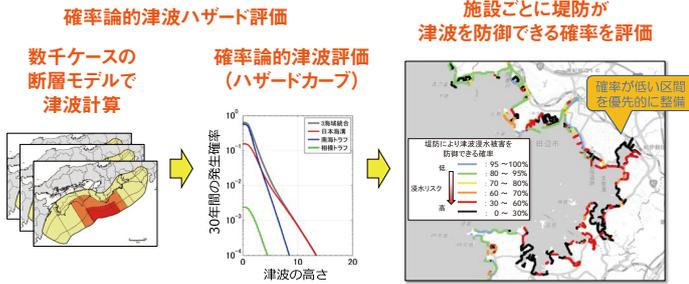
- 対策エリアが広域となる津波被害想定において、従来のシナリオ型津波評価ではハード対策の優先度が不明確で、対策までに膨大な費用と時間がかかる
- 行政と住民とのリスクコミュニケーションが不足。また住民の危機意識・避難意識も低下
- 企業は津波リスク情報、対策のノウハウが不足。対策の進め方がわからない

応用地質の津波防災支援ソリューションは津波リスクの適切な把握を支援し、着実な備えを導きます

津波防災支援ソリューション

ソリューション① 津波浸水リスク評価 → 国・都道府県

- ✓ 従来のシナリオ型予測ではなく、確率で津波の到来と被害規模を評価
- ✓ 施設ごとに堤防の安全性を定量的に評価
- ✓ 定量的な津波防御力の評価に基づき、ハード対策の優先度を設定



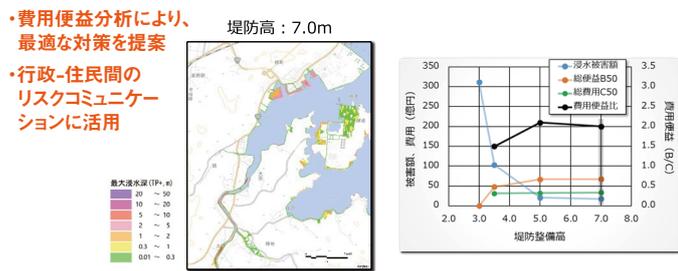
ソリューション② 資産リスク評価 → 都道府県・市町村・企業

- ✓ 沿岸に立地する地域・施設の浸水リスクを定量評価
- ✓ 確率評価との組合せにより浸水対策の効果を定量評価
- ✓ 施設や事業所の資産リスク評価と対策の意思決定を支援



ソリューション③ 合理的な津波防災対策の提案 → 都道府県

- ✓ 詳細な津波シミュレーションにより、地域に最適な津波防災対策を提案
- ✓ 住民の着実な避難を促進する各種リスクコミュニケーション施策の提案



ソリューション④ ソフト対策・情報発信 → 国・都道府県・市町村・企業

- ✓ 最新のデジタル技術を活用したわかりやすいリスク可視化ツールの提供 (事前防災)
- ✓ 発災後の避難誘導やBCPに基づく適切な対策を支援する各種防災アプリケーションの提供



DXで津波防災対策を推進

- ・最先端のデジタル技術の活用で効果的な津波対策を実現
- ・津波リスクを可視化し、よりわかりやすく、感覚的に伝えることで地域の自助・共助を促進

津波防災支援
ソリューション

浸水リスク評価

防災対策の検討

資産リスク評価

ソフト対策

地域の安全、
資産価値の向上